

薬剤部からのお知らせ

2021 No.19

2021年5月11日発行



医薬品の院外採用について -2021年5月10日薬事委員会WG結果報告-

2021年5月16日開始薬品

医薬品名(成分名)	薬品分類
イーフェンバツカル錠 50μg(フェンタニルクエン酸塩)	癌性疼痛治療剤
イーフェンバツカル錠 100μg(フェンタニルクエン酸塩)	癌性疼痛治療剤
クラシエ桂枝加芍薬湯エキス錠	漢方製剤
クラシエ四物湯エキス錠	漢方製剤

院外処方薬品情報

使用上の注意の詳細については電子カルテのJUS D.I.を参照して下さい。

(フェンタニルクエン酸塩)

▶イーフェンバツカル錠 50μg

〔麻薬〕

E-fen 50μg/錠

〔大鵬〕

〔薬価〕497.4 円/錠

▶イーフェンバツカル錠 100μg

〔麻薬〕

E-fen 100μg/錠

〔大鵬〕

〔薬価〕696.2 円/錠

【効】強オピオイド鎮痛剤を定時投与中の癌患者における突出痛の鎮痛

【用】(内) 1回の突出痛に対して、50 又は 100μg を開始用量とし、上顎臼歯の歯茎と頬の間で溶解させる。用量調節期に、症状に応じて、1 回 50、100、200、400、600、800μg の順に一段階ずつ適宜調節し、至適用量を決定する。用量調節期に 1 回の突出痛に対して 1 回 50~600μg のいずれかの用量で十分な鎮痛効果が得られない場合には、投与から 30 分後以降に同一用量までの本剤を 1 回のみ追加投与できる。

至適用量決定後の維持期には、1 回の突出痛に対して至適用量を 1 回投与することとし、1 回用量の上限は 800μg とする。

用量調節期の追加投与を除き、前回の投与から 4 時間以上の投与間隔をあけ、1 日当たり 4 回以下の突出痛に対する投与にとどめること。

▶クラシエ桂枝加芍薬湯エキス錠

(配合剤) 3 錠/包

〔クラシエ〕

〔薬価〕3.4 円/錠

〔貯法〕遮光

18 錠中下記の配合エキス 3.2g : ケイヒ 4g、シャクヤク 6g、タイソウ 4g、ショウキョウ 1g、カンゾウ 2g

【効】腹部膨満感のある次の諸症：しぶり腹、腹痛

【用】(内) 1 日 18 錠を 2~3 回に分割し、食前又は食間に投与する。

▶クラシエ四物湯エキス錠

(配合剤) 3 錠/包

〔クラシエ〕

〔薬価〕4.1 円/錠

〔貯法〕遮光

18 錠中下記の配合エキス 3.3g : トウキ 3g、シャクヤク 3g、センキュウ 3g、ジオウ 3g

【効】皮膚が乾燥し、色つやの悪い体質で胃腸障害のない人の次の諸症：産後あるいは流産後の疲労回復、月経不順、冷え症、しもやけ、しみ、血の道症

【用】(内) 1 日 18 錠を 2~3 回に分割し、食前又は食間に投与する。